

あなたの1票が、忠岡を守ります

合併はいつでもできますが、1度合併してしまえば、あとで「しまった」と思っても取り返しはつきません。

合併反対の方はもちろん、どちらか決めかねている方も、22日の投票日には、「合併しない」のほうを選択してください。

合併する・しないはココで判断！

①小さいからこそ、住民の声が届きます

歩いていける、身近な役場か、
それとも、岸和田まで出向くのか。



②大きな市の片隅で、忠岡の住民のくらしは良くなるのか

町のお金すべて忠岡町のために使うのか、
それとも、すべて岸和田で決められてしまうのか。

③合併問題と財政問題は別の問題です

町長は早々と「合併しかない」と決めてしまったので、
役場では財政危機の打開策を真剣に考えていません。
英知を集めれば解決できます。

私たちは岸和田市との合併に反対です！

住み続けたいまち
ただおか

第 16 号 2004年 8月
「合併しない」に○の会
(元 忠岡町の合併問題を考える会)
代表 出口 勇
連絡先 21-5490

22日の住民投票は「合併しない」に
○をつけてくださるようお願いいたします。

国が合併をすすめるわけ

- ◆全国3,000余りの市町村を合併させて1,000に減らし、国が市町村に支払う地方交付税を4~5兆円減らすため。
- ◆市町村が手控えている公共事業を、合併特例債を使って行わせるため。
- ◆合併によって、住民サービスを切り捨てるため。

岸和田市に吸収合併されたら

- ◆国からの地方交付税が現在と比べると大幅に減り、合併20年後は、なんと1年間で100億円も減ります。
- ◆合併特例債によって岸和田消防本部の建設、忠岡病院の建て替え、忠岡吉井線の道路建設など。
- ◆岸和田市の制度となり、公共料金など住民負担が増える。合併後は更なる住民負担増とサービス切り捨てが予測されます。
- ◆町会議員は次期選挙まで岸和田市議会議員に、議員報酬や議員年金なども岸和田市議会議員並みに。
- ◆ゴミ焼却場は岸和田・貝塚の焼却施設を利用する。
- ◆小学校の耐震工事は、岸和田市の学校の耐震調査がほとんど残っているため、後回しになるかもしれません。
- ◆役場がなくなり、納めた税金の使い方はすべて岸和田で決められてしまいます。
- ◆これまで町の仕事をしていた忠岡の業者は、岸和田市の仕事に新規参入することとなり、どうなるかわかりません。

合併をすすめるためのアメ

- ◆地方交付税算定替期間の5年延長
- ◆合併特例債の創設
- ◆議員の優遇措置

町当局が合併したがるわけ

- ◆財政危機に陥った原因をうやむやにすることができる。
- ◆財政再建政策を作らなくても済む。

私たちは岸和田市との合併に反対です！